

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	16	事業名	事務局体制のあり方検討			戦略コード	4	戦略名	機動的・効率的な商工会		
商工会名	潟上市商工会	担当者名	千葉 恵美子	総轄者名	安田 幸博	施策コード	7	施策名	充実した個社支援のための組織のあり方検討		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

事務所内が見えづらく入りにくい、活気がなく雰囲気が暗いという声がある。また広域指導センターに相談室がないという課題解決に取り組む。

2. 事業のねらい

入りやすい、相談しやすい機能的で開放的な商工会を目指すとともに、会員相互のコミュニケーション構築や将来的な本支所統合を含む職員数減少への対策を検討する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	—	H30	B	R1	B	R2	A
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

新型コロナウイルス感染症の影響による経営相談件数の増加に対応するため、オンライン会議などを導入し事務局内の業務改善を行い相談体制を整備した。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

広域指導センターのあり方、将来的な本支所統合や職員の減少対策についての具体的に検討していく必要がある。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
新型コロナウイルス感染症対策支援のための窓口相談機能向上	コロナ関連の施策に対する支援相談や金融相談などで来館者が増加する中で、感染症拡大防止対策を徹底し安全面に配慮した窓口支援を行った。	a

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

項目	窓口相談者の来所数					項目						項目						
	年度	H29	H30	R1	R2		R3	年度	H29	H30	R1		R2	R3	年度	H29	H30	R1
目標	6%増(657)	7%増(663)	8%増(669)	9%増(675)	10%増(680)	目標						目標						
実績	-14%(568)	-60%(270)	-62%(255)	28%(864)	28%(869)	実績						実績						
達成率	86%	40%	38%	128%	128%	達成率						達成率						
達成度	b	c	c	a	a	達成度						達成度						

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない)	a
--	---

〈評価の理由〉

コロナ禍の非常事態において、増加する相談に効率的に対応するためには窓口相談相談機能の向上は必要不可欠である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【事業内容】「5. 事業内容と実績」「6. 評価指標と実績」の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)	a
---	---

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

- ・持続化給付金相談や金融相談などで来館者が増加する中で、安全面に配慮した窓口支援を行った。
- ・昨年度導入されたパソコンとモニターを活用し、支援機能の強化に役立っている。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 コスト削減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない)	a
--	---

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

窓口相談機能を向上して、会員・非会員の区別なくコロナ関連施策の手厚い支援を行ったことで会員加入数の増加にもつながった。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合	A
--	---

- ・非常事態時の対応として窓口機能を向上したことにより会員、非会員の区別なく迅速に相談対応をした。
- ・全職員によるスピーディーな窓口対応により商工会に対する評価が向上した。
- ・相談後の非会員からの会員加入申込につながった。

3. 課題

広域指導センターのあり方、将来的な本支所統合や職員の減少等についての体制整備

4. 今後の対応方針(改善点)

広域指導センターのあり方、将来的な本支所統合や職員減少対策について、組織財政強化委員会で具体的な検討を始める。